

平成22年度 商工労働部予算の概要

1 予算要求・編成の基本方針

県内の景気は、生産に持ち直しの動きが見られるものの、その度合いは弱く、雇用情勢は有効求人倍率が低水準で推移するなど、依然として厳しい状況にある。こうした状況を踏まえ、雇用の確保等による県民生活の安定、地域経済の活性化を目指し、実効性のある経済・雇用対策に取り組んでいく。

また、人口減少・少子高齢化、経済のグローバル化の進展など、社会経済情勢の変化に的確に対応するため、本県商工労働行政の指針である新しい「福島県商工業振興基本計画 “活きいきふくしま”産業プラン」による施策の重点化を図り、付加価値の高い多彩な産業が展開する「活力に満ちた『ふくしま』」の実現を目指す。

2 重点事項

- (1)ふくしまの将来を支える成長産業の創出
- (2)ふくしまの地域資源を生かした産業の振興
- (3)ふくしまに活力を与える多様な交流の促進
- (4)産業を支える「人と地域の輝き」づくり

3 予算額

(単位 百万円、%)

区分	平成22年度当初	平成21年度当初	増減	伸び率	備考
予算額計	93,509	75,429	18,080	24.0 %	
義務的経費	2,629	2,867	238	8.3 %	人件費
一般事業費	90,880	72,562	18,318	25.2 %	
公共事業費					

4 部局連携により構築した主な事業

(単位 百万円)

事業名	担当課	関係部局	新規	事業の概要	予算額	連携を図る具体的な内容
(4-1) 新規高卒者等雇用対策事業	雇用労政課 産業人材育成課	総務部 教育庁		就職未内定のまま高校を卒業した者に対して採用内定を出した企業等に雇用助成金を支給するとともに、テクノアカデミーの施設やノウハウ等を活用した就職指導や技術体験等を実施する。	18	正規雇用を希望している未就職卒業生等のため、事業の周知広報を行うとともに、就職促進支援員の活用による効果的な事業展開を図ることにより、多くの企業からの求人を確保する。
(4-2) 環境・新エネルギー関連産業集積・育成事業	企業立地課 産業創出課	企画調整部 生活環境部		成長が期待される環境・新エネルギー関連産業について、ネットワークの形成から取引拡大まで体系的・戦略的な推進体制を整備し、その集積・育成を図る。	21	「新エネルギー普及拡大推進会議」との連携により、各種ニーズや研究テーマ等を発掘し、企業間の情報交流や研究開発を促進し、取引拡大につなげる。また、「環境・エネルギーフェア」において、新技術展示商談会を同時開催し、取引拡大及び研究開発促進を図る。
(4-3) ふくしま医療機器産業ハブ拠点形成事業	産業創出課	保健福祉部		先進的な取組みとして高い評価を受けている医療機器産業の集積を加速化させ、全国的な拠点形成を目指すため、新規参入企業の育成や県内外の医療機器クラスターとの連携を図る。	4	県内企業が医療機器分野へ参入するために必要な基礎知識を習得するための「人材育成事業」や医療機関等から医療ニーズを発掘するための「医療ニーズ発掘事業」の実施にあたっては、医療制度に精通した福島県立医科大学の教員や保健福祉部の職員等と連携しながら、事業を実施していく。

事業名	担当課	関係部局	新規	事業の概要	予算額	連携を図る具体的な内容
(4-4) ふくしま県産果実 高度利用推進事業	産業創出課	農林水産部		県産果実を生の状態 で通年食することを可能 とする冷凍保存技術を開 発し、冷凍品を使用し た加工品の開発を行 い、消費拡大(輸出拡 大)や販路拡大につな げる。	9	県産果実の鮮度保持技術の調査研 究を通じて、地域産業の6次化を図 るため、ハイテクプラザにおいて冷凍 技術研究開発や機能性成分試験を行 い、農業総合センターでは、パッケ ージ技術による鮮度調査や官能試験等 を行うなど、連携して商品開発に取り 組む。
(4-5) 福島大型観光キャ ンペーン推進プロ ジェクト	観光交流課	企画調整部 文化スポー ツ局 生活環境部 農林水産部 土木部		「大型観光キャンペ ーン」の土台となる、地域 の魅力を観光素材とし て活用できる「観光人 材・ネットワークづくり 」と、地域に誇りと愛着を 感じることができるよう な「県民参加による観光 おもてなしのための意 識醸成」を行い、広く福 島県のイメージアップと 地域活性化を図る。	3	NPO法人や商工団体、環境団体など 様々な主体と連携しながら、着地型観 光を推進し、観光によるまちづくりの 取組みを一体となって進めていく。
(4-6) 「合宿の里ふくし ま」推進事業	観光交流課	文化スポー ツ局 企画調整部 土木部		合宿誘致は大人数が 長期滞在することによる 地域への経済波及効果 に加え、地元住民と 都市住民との交流促進 や施設の稼働率の向 上など、地域の活性化 に寄与するものであるこ とから、本県への合宿 誘致の気運醸成を図っ ていく。	6	県関係部局や(財)観光物産交流協 会、賛同市町村等で構成された「ふく しま合宿誘致推進会議(仮称)」を発 足し、先行地域の事例研究や合宿受 入態勢の検討を行うなど、全県的な 合宿誘致に向けた気運の醸成を図っ ていく。
(4-7) ふくしまふるさと体 験交流促進事業	観光交流課	企画調整部 農林水産部 教育庁		平成25年度からの子ど も農山漁村交流プロ ジェクトに向けた受入窓 口の整備、安全管理対 策、体験プログラムの充 実等の受入体制整備 や誘致活動の促進等を 図る体験交流型観光受 入地域に対する支援を 行う。また、本県におけ るふるさと体験交流の 情報を一元的にとりまと めて高速道路SAや道 の駅、農産物直売所 において提供する。	8	受け皿作りに加え、効果的にふるさと 体験交流の情報を提供し、体験交流 型観光を推進していく。
(4-8) 福島空港を活用し た青少年交流推進 事業	観光交流課 空港交流課	企画調整部		福島空港を活用した就 航先等とのサッカーや 国際教育旅行での相 互交流を促進すること により、スポーツを通し た競技力の向上や交流 人口の拡大、さらには 福島空港の定期路線 の利用増加につなげ る。	12	連携・協力しながら、株式会社日本 フットボールヴィレッジとの調整を行 うとともに、Jヴィレッジの活用につ いて、関係団体への周知に努めるな ど、サッカーを通じた交流を推進し ていく。

事業名	担当課	関係部局	新規	事業の概要	予算額	連携を図る具体的な内容
(4-9) 国際定期路線乗り継ぎ利用促進対策事業	空港交流課	生活環境部		国際定期路線からの乗り継ぎ利用の促進を図るため、PR、モニターツアーの実施等に取り組む。	9	財団法人自治体国際化協会のノウハウを活用しながら、乗り継ぎ先の魅力を情報発信し、福島空港の利用促進につなげていく。
(4-10) 県産品ブランド力向上戦略事業	県産品振興戦略課	農林水産部		ブランド認証産品をはじめとした優れた県産品について、販売促進のために雑誌等によるPRや首都圏の飲食店へのプロモーションを行うとともに、県民の愛着を高めるために県内百貨店等へのプロモーションを行う。	33	事業の実施にあたっては、県産品振興戦略運営会議において連携内容や実施方法等について検討・協議する。また、百貨店等でのプロモーションにおいては、ブランド認証産品だけでなく旬の農林水産物についても共同でPRや販売促進活動を展開する。

5 重点事項と主な対応事業

(単位 百万円)

事業名	H22当初	H21当初	重点	新規	事業内容
(1)ふくしまの将来を支える成長産業の創出					
(4-2と同じ) 環境・新エネルギー関連産業集積・育成事業 【企業立地課、産業創出課】	21				成長が期待される環境・新エネルギー関連産業について、ネットワークの形成から取引拡大まで体系的・戦略的な推進体制を整備し、その集積・育成を図る。
(4-3と同じ) ふくしま医療機器産業ハブ拠点形成事業 【産業創出課】	4				先進的な取組みとして高い評価を受けている医療機器産業の集積を加速化させ、全国的な拠点形成を目指すため、新規参入企業の育成や県内外の医療機器クラスターとの連携を図る。
中小企業制度資金貸付金 (成長産業育成資金) 【金融課】	2,500				環境・新エネルギー関連産業や農工商連携等の将来性や成長性が期待される産業の育成を金融面から支援するため、新たな融資制度を創設する。 (新規融資枠:50億円)
がんばる企業・立地促進補助金 【企業立地課】	430	630			産業基盤の強化と就業機会の確保を促進するため、環境・新エネルギー関連、農工商連携関連、輸送用機械関連、半導体関連、医療・福祉機器関連産業等の製造業・研究所に対し、新設・増設に係る設備投資額の一部を補助する。

(2)ふくしまの地域資源を生かした産業の振興

(4-4と同じ) ふくしま県産果実高度利用推進事業 【産業創出課】	9				県産果実を生々の状態で通年食することを可能とする冷凍保存技術を開発し、冷凍品を使用した加工品の開発を行い、消費拡大(輸出拡大)や販路拡大につなげる。
(4-10と同じ) 県産品ブランド力向上戦略事業 【県産品振興戦略課】	33				ブランド認証産品をはじめとした優れた県産品について、販売促進のために雑誌等によるPRや首都圏の飲食店へのプロモーションを行うとともに、県民の愛着を高めるために県内百貨店等へのプロモーションを行う。

事業名	H22当初	H21当初	重点	新規	事業内容
(2)ふくしまの地域資源を生かした産業の振興					
中小企業制度資金貸付金 (経営安定特別資金) 【金融課】	20,000	20,000			厳しい経済情勢の影響を受けている県内中小企業者に低金利、低保証料、信用保証協会100%保証の資金を提供し、金融面から支援する。 (新規融資枠:600億円)
活力ある商店街支援事業 【商業まちづくり課】	24	14			空き店舗の増加等により空洞化が進行している商店街の活性化のため、魅力向上に取り組む各商店会等が空き店舗対策事業を実施する場合に、市町村を通して補助金を交付する。

(3)ふくしまに活力を与える多様な交流の促進					
事業名	H22当初	H21当初	重点	新規	事業内容
(4-5と同じ) 福島大型観光キャンペーン推進プロジェクト 【観光交流課】	3				「大型観光キャンペーン」の土台となる、地域の魅力を観光素材として活用できる「観光人材・ネットワークづくり」と、地域に誇りと愛着を感じることができるよう「県民参加による観光おもてなしのための意識醸成」を行い、広く福島県のイメージアップと地域活性化を図る。
(4-6と同じ) 「合宿の里ふくしま」推進事業 【観光交流課】	6				合宿誘致は大人数が長期滞在することによる地域への経済波及効果に加え、地元住民と都市住民との交流促進や施設の稼働率の向上など、地域の活性化に寄与するものであることから、本県への合宿誘致の気運醸成を図っていく。
(4-7と同じ) ふくしまふるさと体験交流促進事業 【観光交流課】	8				平成25年度からの子ども農山漁村交流プロジェクトに向けた受入窓口の整備、安全管理対策、体験プログラムの充実等の受入体制整備や誘致活動の促進等を図る体験交流型観光受入地域に対する支援を行う。また、本県におけるふるさと体験交流の情報を一元的にとりまとめて高速道路SAや道の駅、農産物直売所において提供する。
(4-8と同じ) 福島空港を活用した青少年交流推進事業 【観光交流課、空港交流課】	12				福島空港を活用した就航先等とのサッカーや国際教育旅行での相互交流を促進することにより、スポーツを通じた競技力の向上や交流人口の拡大、さらには福島空港の定期路線の利用増加につなげる。
(4-9と同じ) 国際定期路線乗り継ぎ利用促進対策事業 【空港交流課】	9				国際定期路線からの乗り継ぎ利用の促進を図るため、PR、モニターツアーの実施等に取り組む。
上海万博関連PR強化事業 【観光交流課】	16				平成22年度に開催される上海万博のタイアップ事業である上海世界旅遊観光資源博覧会にブース出展し、本県の観光や県産品などの魅力をPRすることにより、本県への誘客、さらには福島空港上海便の利用促進につなげる。

事業名	H22当初	H21当初	重点	新規	事業内容
(4)産業を支える「人と地域の輝き」づくり					
(4-1と同じ) 新規高卒者等雇用対策事業 【雇用労政課、産業人材育成課】	18				就職未内定のまま高校を卒業した者に対して採用内定を出した企業等に雇用助成金を支給するとともに、テクノアカデミーの施設やノウハウ等を活用した就職指導や技術体験等を実施する。
緊急雇用創出基金事業 【雇用労政課】	6,500	1,800			離職した非正規労働者、中高年齢者等の一時的な雇用・就業機会を創出するため、「緊急雇用創出基金」を活用し、民間企業等への委託、直接実施事業、市町村への補助を行う。
ふるさと雇用再生特別基金事業 【雇用労政課】	2,600	2,000			県及び市町村の創意工夫に基づく地域の雇用機会を創出するため、「ふるさと雇用再生特別基金」を活用し、民間企業等への委託、市町村への補助、正社員雇い入れに対する一時金支給等の事業を行う。

6 見直しを行った主な事業

(単位 百万円)

事業名	H22当初	H21当初	見直しを行った内容・理由等
障がい者地域就業ステップアップ事業 【雇用労政課】	0	4	障がい者サポートセンター1箇所を、生活支援から就労支援までを行う国設置の障害者就業・生活支援センターに業務移行した。
ふくしまチャレンジャー運営事業 【産業創出課】	1	3	組込技術者養成事業について、テクノアカデミー郡山において組込技術工学科が設置されたことなどにより、経費の縮減を図った。
ふくしま型「旅育(たびいく)」推進事業 【観光交流課】	5	6	教育旅行実施校へのアフター通信について、紙ベースからメールで対応することにより、経費の節減を図った。